

ボランティア・市民活動情報

2020
12月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

日曜日	催し物
1 火	
2 水	
3 木	
4 金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
5 土	パソコン定期相談 ▲
6 日	
7 月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
8 火	育児ファミサポ ファミサポ交流会 ●
9 水	
10 木	
11 金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
12 土	
13 日	きらきら書道 ▲
14 月	BANBANしゃべろう会 ■
15 火	
16 水	
17 木	
18 金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
19 土	パソコン定期相談 ▲
20 日	
21 月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
22 火	
23 水	
24 木	
25 金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
26 土	
27 日	

12/28 ~ 1/4 は 市民活動センター休館日

高齢者ボランティアポイント事業 説明会

市内の施設でボランティアすることで、地域貢献や社会参加をしてみませんか？三木市内に住む65歳以上のみなさん、お待ちしております。

- 日 時：毎週金曜日 9:00 ~ 10:00
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 申込先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



チームICT パソコンの定期相談会

チームICTは、市民活動センター施設サポーターとして登録しているサポーターです。パソコンで資料が作りたい。写真を取り込みみたいなどご相談ください。

- 日 時：毎月第1・3土曜日 10:00 ~ 12:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090
- * 申込不要
- * 一緒に活動して下さる方を募集しています。

コミュニケーションマージャン 体験会

一つの牌(パイ)がたわしサイズのコミュニケーションマージャンは、2人1組になって「頭」「身体」「口」を動かしながら、和気あいあいと皆で楽しめるレクリエーション素材として人気を集めています。「昔好きだったマージャンで、健康維持ができたらいいな!」「今度地域のふれあいサロンでやってみたいけど、ルールがわからない...」この体験会では、そんなコミュニケーションマージャンに興味のある方を対象に、コミュニケーションマージャンの楽しみ方の説明から実践までを体験することができます。家族や友人を誘って、お気軽にご参加ください。

- 日 時：毎月第1・3月曜日 10:00 ~ 11:30 (祝日除く)
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 主 催：みきコミュニケまあ〜雀「にこここ」
- 申込・問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

12

Vol.277
2020.12.1

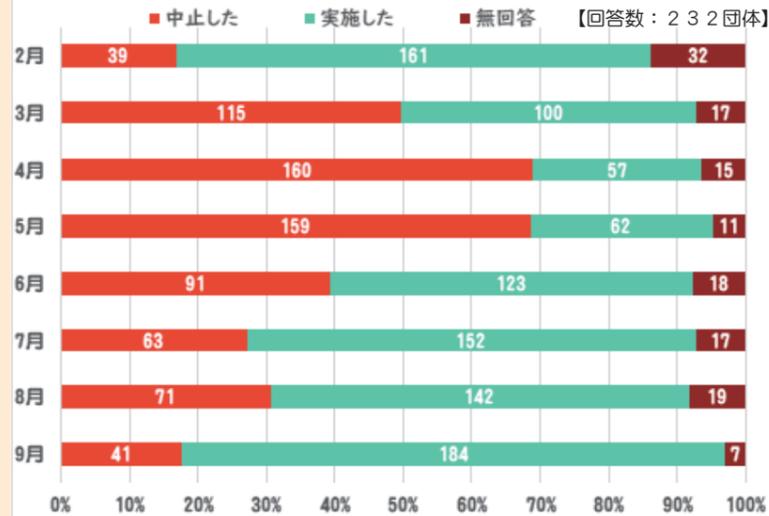
速報

コロナ禍におけるボランティア・市民活動団体の現状に関するアンケート《集計結果》



新型コロナウイルス感染症の拡大により、人が集い、ふれあい、顔を合わせて交流することが醍醐味であるボランティア・市民活動にもさまざまな影響が生じています。先が見えづらい状況ですが、活動に対する気持ちや仲間同士の思いを途切れさせず、何かしらの希望を見いだすことができるよう、各団体の現状把握を目的にボランティア活動プラザみきが把握するボランティア・市民活動団体【379団体】にアンケートを実施しました。その集計結果の一部をお知らせします。

新型コロナの影響を受け、活動をどのようにされましたか

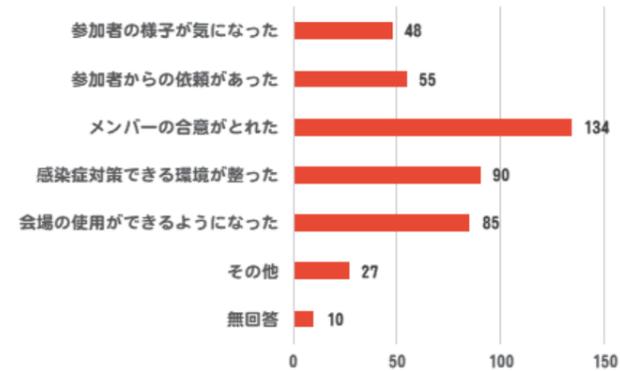


緊急事態宣言が発令されていた4・5月は、活動を中止した団体が約70%を占めています。宣言解除後の6月以降は、活動を行うグループが段階的に増えており、9月時点で79%が活動を実施しています。

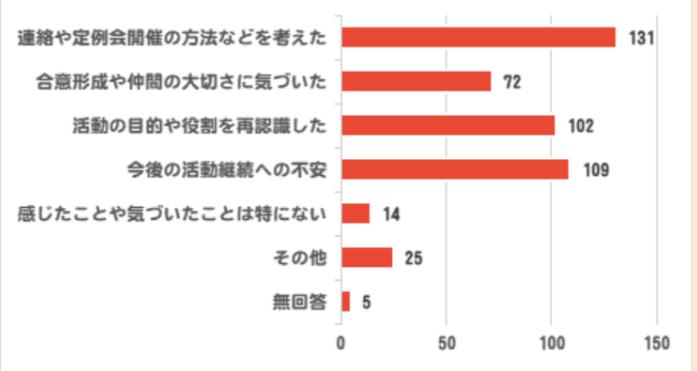
活動の再開理由については、共に活動するメンバーと合意できたことが最も多かったです。活動を中止している期間もメンバー間でコミュニケーションをとり、活動の方向性について模索していたことが分かります。

依然として終息が見えない状況において、多くの団体が今後の活動継続への不安を感じています。そのような中、5.6%の団体が“現状を乗り切るため”“今後の有事に備えるため”と、連絡手段や定例会の開催方法などを検討されています。

活動の再開(継続)した理由は(複数回答)



新型コロナの影響を受け、感じたことや気付いたこと(複数回答)



68名の方が 新たな“つながる方法”にチャレンジされました!

はじめてのZOOM体験会

ご報告

“集まらなくてもつながるツール”の一つとして活用されている「Zoom(ズーム)」の導入について学ぶ場を開催しました。8回の開催で計68名の方にご参加いただき、ZoomソフトのインストールからZoomミーティング(会議)への参加まで実施し、参加者同士がウェブ上でつながる体験をしました。今回参加された方にとって、この体験会が新たな取り組みやつながりづくりのきっかけになれば嬉しいです。



体験会参加後、実際に知人とZoom会議をしました。離れている人とも“行かなくても会える”というのが嬉しいですね。先の見えないコロナ禍において、地域の方の安否確認などにも活かせるいいなと考えています。

自治会の役員会をZoomでできたらいいなという思いから体験会に参加しました。最近では、展示会にZoomを活用し、遠くの方に作品を見てもらったり、感想をもらうなどのやり取りができたこと、色々と夢を膨らませています。

アンケートにお答えいただいた各団体の代表者さま、ご協力いただきありがとうございました。アンケート集計結果がまとまりましたら、改めて各団体宛にご報告させていただきます。

【問合せ】 ボランティア活動プラザみき ☎ 0794-83-0090

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(16)
～市民のチカラ～

コロナウイルスと共に生きる 地域での暮らしってどういこと? ～コロナ禍でのつながりを模索する～

◆「ほっとけない! 地域づくりを考える集い」開催

今年のみきボランティアフェスタは、いつもと方法を変えた開催となりました。新型コロナウイルス感染症流行に伴い3日間の開催へ。ステージイベントや体験ひろばがない代わりに、Zoom（ズーム）やYouTube（ユーチューブ）を使った、集まらなくてもつながる方法や情報発信に挑戦しました。そんな中、「ほっとけない! 地域づくりを考える集い」は今年も健在。コロナ禍でも民生委員・児童委員をはじめ、民生・児童協力委員、自治会長、地域活動者など約90名の会場参加がありました。また、Zoomでの参加11名、YouTubeでの参加66名と、様々な手段での皆さまの参加に感謝申し上げます!

◆ コロナとともに、地域のこれまで・いま・これからを考える

「コロナウイルスと共に生きる地域での暮らしってどういうこと?」と題し、講師にご近所福祉クリエイターの酒井保さんをお招きしました。講演内容の軸は、これまで体験したことのない自粛生活の中で、地域住民の暮らしはどう変わったか、そして地域の活動はどう変わればいいのか。特に、外出の機会が減り、体や心の元気をなくしてしまう高齢者の状況が社会問題になりつつあること、「コロナだから」ではなく「コロナだけ」他者や社会との結びつきを持つ必要性を、みんなで再確認できました。気さくな語り口の酒井さんと参加者の双方向のやりとりを通して、「コロナだけ」続けている・やり始めた活動の工夫が見えてくる場面もあり、迷いながら進んできた活動者にとっては元気づけられたり、今後はどうしようと悩む活動者にとっては「できることから始めよう」と背中を押してもらった機会になったのではないかと思います。参加者アンケートの結果でも、集いを通じて「人のつながりと健康の関係性」や「コロナ禍のふれあいサロンの状況」を知るとともに、半数の方は「多様なつながり方があることに気づいた」と答えました。また今後は、従来のように集まることだけにとらわれない「互いに気にかけて合う取り組みを積極的にやりたい」と答えた方が全体の7割にも上りました。

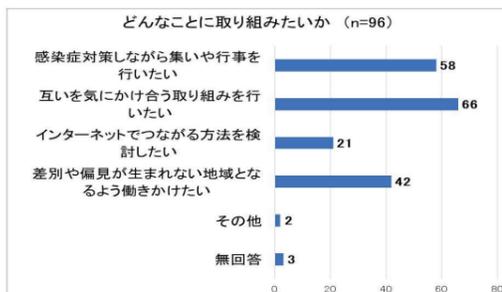
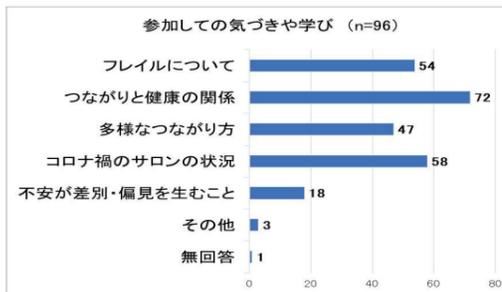


◆ ピンチはチャンス 活動の経験値を上げるのは今!

感染症が広がり始めた今年初旬は、数カ月たてば落ち着かず、それまで休めばいい、と考えればよかったのですが、これだけ長期戦になると、今のことを言っていられませんが、これをやれば完全にウイルスを封じられるという方法もなく、地域で行える対策にも限界がある中で、もし自分が感染したら…、活動中に感染者を出したら…という不安があったり、活動や参加に対する意見が食い違うのも当たり前です。けれども地域での暮らしにおいて、感染症だけが特別な問題なのでしょうか? 自然災害や大規模な事故も含め、備えや構え、予防をしても、誰しもがどうなるかわからない状況に遭遇することは、地域での暮らしの中であって当然の話です。どんな問題が生じて、つながりを絶やさず、互いに気にかけてあえる地域は、今できる活動を積み重ねた先にしかないのです。きっとこのコロナ禍の活動や経験は、地域で前を向く原動力になっていくと考えます。思考や歩みを止めるのではなく、仲間と共に話し合い、工夫しながら行動することを諦めない活動が広がることを願っています。

今年の「ほっとけない! 地域づくりを考える集い」のビデオ動画はフェスタ終了後も、引き続き YouTube にて視聴できます。

<https://youtu.be/XMmtfcjexVs>



(上グラフ) ほっとけない! 地域づくりを考える集い 参加者アンケート集計結果

助成金情報

助成金等名称 〔申請等期日・期間〕	助成内容	問合せ・申込先
2020年度近畿ろうきんNPOアワード 〔2021年1月31日(日)消印有効〕	子どもや子育てに関わる支援など「未来に活かす」多彩なプログラムへの応募をお待ちしています。 〔応募要件〕 ・近畿2府4県に主たる事務所を置いている団体 ・非営利の市民活動・ボランティア活動を行う、NPO法人と一般社団法人(非営利型)、法人格のない任意団体 〔助成対象事業〕 2021年4月1日～2022年3月31日に日本国内で実施する新規プログラムで、以下のいずれかの子育て支援事業とします。 ①子どもの成長を応援する事業 ②子育て環境を整える事業 〔助成額〕※いずれかのコースを選択いただきます。 〔はばたきコース〕団体規模に関係なく新規プログラムを募集します。 ●大賞(1団体)・・・50万円 ●優秀賞(2団体)・・・30万円 ●奨励賞(5団体)・・・20万円 〔はぐくみコース〕予算規模200万円以下の小規模団体を応援します。 ●はぐくみ賞(4団体)・・・10万円	申請書に必要な事項を記入の上、提出書類と一緒に、近畿ろうきん地域共生推進室へ郵送 近畿労働金庫 地域共生推進室 〒550-8538 大阪市西区江戸堀1-12-1 電話 06-6449-0842 FAX 06-6449-1414 ホームページ https://www.rokin.or.jp/
第22回北川奨励賞公募 〔2021年1月15日(金)必着〕	難病や障がいをもつ子ども達とその家族に対して社会医学的な実践、セルフヘルプ活動、またはボランティア活動を進めており、既に何らかの実践を行っている個人、または比較的規模の小さなグループ等の活動を募集。 〔奨励金の対象範囲〕 ①団体活動の運営に関する諸経費 ②会の主催する講演会・研修会・イベントの開催経費 ③その他難病や障がいをもつ子どもとその家族の支援に関する活動経費 ④今年度は特に新型コロナウイルス感染症の拡大にともない活動をどのように工夫されたのか、また、どのように活動をする予定なのかを対象に加えます。 〔贈呈金額〕 ①1県50万円を上限とし、申請内容により贈呈金額を決定します。 ②助成金の総額は200万円とします。	特定非営利活動法人コーポレートガバナンス協会北川奨励事務局 〒231-0006 神奈川県横浜市中区南仲通3丁目30番地スギヤマビル3階 堤税理士事務所内 電話 045-263-6965 FAX 045-263-6966 ホームページ http://www.teamcg.or.jp/

Vol.2

セルフヘルプグループってなあに?

「失語症者と家族の会BANBANしゃべろう会」さんにききました!

BANBANしゃべろう会は、失語症の人とその家族のグループです。情報交換をしながら交流し、気軽に集える場づくりや、失語症についての理解を広げる機会づくりを行っています。

病気や事故が原因で言語機能に障がいが生じる失語症。「伝えたいことがあるのに言えない」「相手の言っていることが理解できない」ことから、行き場がなくなり、閉じこもりがちになっていた2組のご夫婦の出会いがこの会の始まりでした。発足当初、「同じ境遇の人が集いあうことで、これまで悩みだった“できないこと”が笑いに変えられるようになった」と、代表は話されていました。



「セルフヘルプグループ」とは

病気、障がい、依存、嗜好など、悩みや生きづらさを持つ人や家族が、同じような状況の人・家族と出会い、支援しあうグループ

月2回の集い場に、音楽療法や言語療法を取り入れているのがこの会の特色の一つ。みき音楽療法ボランティア「そよかぜ」のメンバーと季節のうたを歌ったり、言語聴覚士の先生と数字を使ったことばのレクリエーションなどを行っています。どちらも会場には笑い声があふれ、和やかな楽しい雰囲気です。

「ご夫婦(家族)共に明るく元気になれるように」と当事者と家族がそれぞれ別の活動をするのではなく、一緒に同じことに取り組み、同じひと時を共有することを大切にされています。悩みや不安が募った時、本人の前で話しにくい場合などは、個別に連絡を取り合いゆっくり話をするこも。お互いを大切にしながら、自分たちと同じ境遇の人が一歩でも前に踏み出せるように、これからもBANBANしゃべろう会の活動は続きます。

- 【開催日時】毎月第2・4月曜日 14:00～16:00
- 【開催場所】三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘
- 【問合せ先】ボランティア活動プラザみき ☎0794-83-0090